

Creating the Future of Energy

2027年3月期 第1四半期 決算説明会



2026.8.5

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

2027年3月期 第1四半期決算状況

1. 連結決算サマリ	
－ 連結業績	4
－ 営業利益増減要因（前年比較）	5
－ 営業外損益などの増減要因（前年比較）	6
2. セグメント別業績	
－ モビリティ：鉛蓄電池（国内）	8
－ モビリティ：鉛蓄電池（海外）	9
－ モビリティ：リチウムイオン電池	10
－ 社会インフラ：産業電池電源	11
－ 社会インフラ：航空・宇宙・防衛	12
3. 貸借対照表	13

2027年3月期 業績予想

1. 売上高・利益予想	15
-------------	----

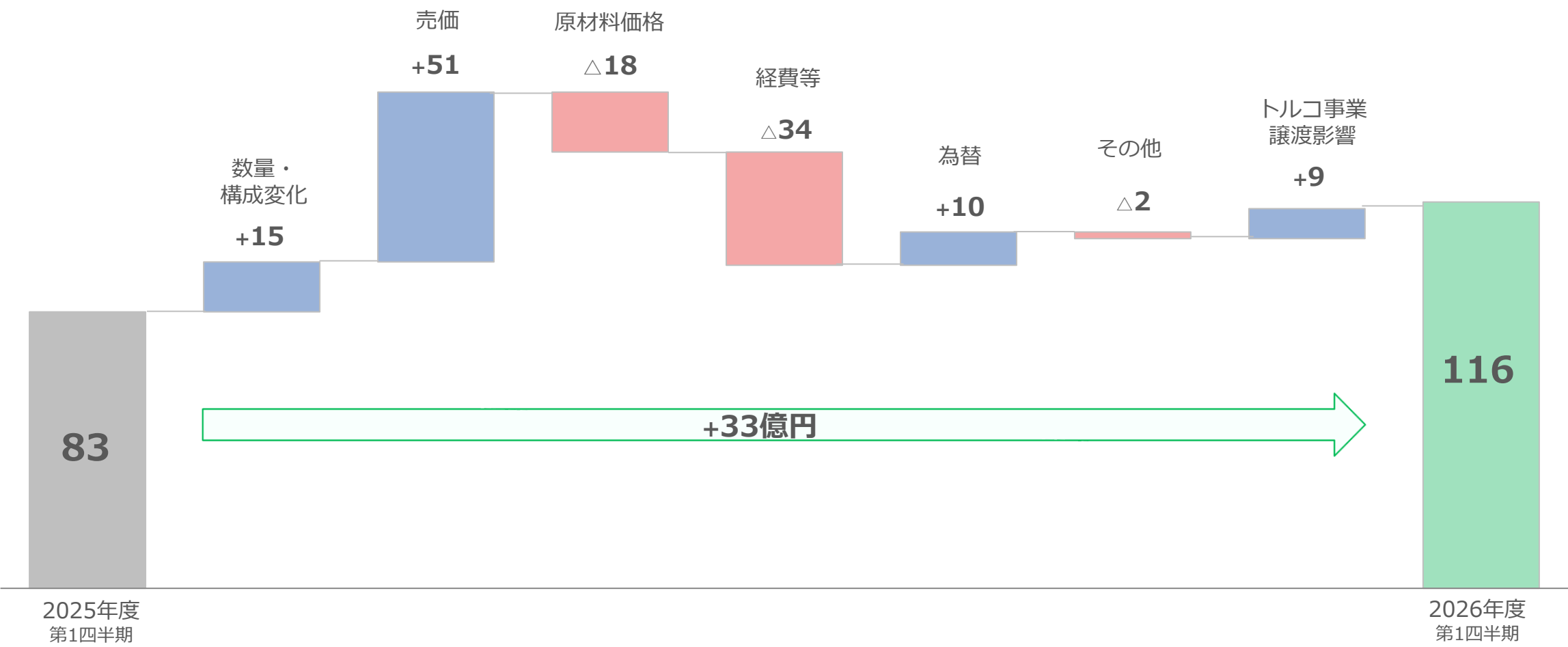
2027年3月期 第1四半期決算状況

(単位：億円)		2025 年度 第1四半期 (4-6月)	2026 年度 第1四半期 (4-6月)	増減	(前期比)	[参考] 2026 年度予想			
						当初予想 (2026.5)		修正予想 (2026.8)	
						上期 (4-9月)	通期 (4-3)	上期 (4-9月)	通期 (4-3)
売上高		1,319	過去最高 1,417	+98	(+7.5%)	3,090	6,600	3,130	6,800
売上総利益		313	363	+50		-	-	-	-
営業利益 (利益率)		83 6.3%	過去最高 116 8.2%	+33 +1.9P	(+39.3%)	190 6.1%	600 9.1%	220 7.0%	630 9.3%
経常利益		85 6.4%	過去最高 121 8.5%	+36 +2.1P	(+42.8%)	160 5.2%	560 8.5%	210 6.7%	610 9.0%
税前四半期純利益		100	120	+20		-	-	-	-
親会社株主 四半期純利益 (利益率)		65 5.0%	過去最高 76 5.3%	+11 +0.3P	(+15.7%)	90 2.9%	360 5.5%	120 3.8%	395 5.8%
EPS (1株当たり四半期純利益)		65.11 円	75.34 円	+10.23 円		89.72 円	358.88 円	119.62 円	393.74 円
CF計算書 関係	減価償却費	60	67	+7					
相場情報 / 前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	34.64 万円/t	38.01 万円/t	+ 3.37 万円/t		38.0 万円/t	38.0 万円/t	38.0 万円/t	38.0 万円/t
	L M E (US\$/t)	1,947 US\$/t	1,955 US\$/t	+ 8 US\$/t		2,100 US\$/t	2,100 US\$/t	2,000 US\$/t	2,000 US\$/t
	為替 (円/US\$)	143.75 円/US\$	160.72 円/US\$	+ 16.97 円/US\$		150.00 円/US\$	150.00 円/US\$	160.00 円/US\$	160.00 円/US\$

業績の動向

- 第1四半期では、売上高・各段階利益とも過去最高を更新。
- 産業電池電源で減収減益となった一方で、鉛蓄電池（国内・海外）とリチウムイオン電池セグメントで増収増益となった。
- LMEはほぼ横ばいで推移する一方、国内鉛建値は円安が進んだことで大きく上昇。その他一部原材料で高騰が見られる。
- 為替は前年対比では円安水準。

(億円)



(単位：億円)

	2025 年度 第1四半期 (4-6月)	2026 年度 第1四半期 (4-6月)	増減
営業利益	83	116	+33
営業外収益	21	19	△2
営業外費用	19	14	△5
経常利益	85	121	+36
特別利益	18	0	△18
特別損失	3	1	△2
税金等調整前四半期純利益	100	120	+20
法人税等	24	22	△2
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	22	+11
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	76	+11

主な発生科目（）内は増減要因

- 持分法による投資利益 5億円
(持分法損益の増加 +1億円)
- 正味貨幣持高による利得 - 億円
(トルコ事業譲渡による影響 △4億円)
- 為替差損 1億円
(主に欧州拠点での為替差損益 △3億円)
- 支払利息 4億円
(トルコ事業譲渡で支払利息減 △10億円)

(単位：億円)		2025 年度 第1四半期（4-6月）		2026 年度 第1四半期（4-6月）		増減		[参考] 2026 年度 通期予想（4-3月）			
		売上高		売上高		売上高		当初予想（2026.5）		修正予想（2026.8）	
		営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:P)	営業利益 (利益率:P)	営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:%)	営業利益 (利益率:%)
モビリティ	鉛蓄電池（国内）	224	17 (7.5)	245	24 (9.9)	+21	+7 (+2.4)	1,130	115 (10.2)	1,170	120 (10.3)
	鉛蓄電池（海外）	514	38 (7.5)	578	72 (12.5)	+64	+34 (+5.0)	2,240	230 (10.3)	2,400	265 (11.0)
	リチウムイオン電池	194	△0 (△0.2)	215	8 (3.7)	+21	+8 (+3.9)	1,070	50 (4.7)	1,070	40 (3.7)
社会インフラ	産業電池電源	332	25 (7.7)	322	10 (3.0)	△10	△15 (△4.7)	1,900	195 (10.3)	1,900	195 (10.3)
	航空・宇宙・防衛	48	8 (15.6)	50	6 (12.6)	+2	△2 (△3.0)	230	25 (10.9)	230	25 (10.9)
	その他	6	△5	7	△5	+1	△0	30	△15	30	△15
合計		1,319	83 (6.3)	1,417	116 (8.2)	+98	+33 (+1.9)	6,600	600 (9.1)	6,800	630 (9.3)

(注) 2026年度より鉛蓄電池（海外）に含まれる産業用海外事業を産業電池電源に変更しております。
2025年度の売上高および営業利益（利益率）は変更後の報告セグメントにより記載しています。

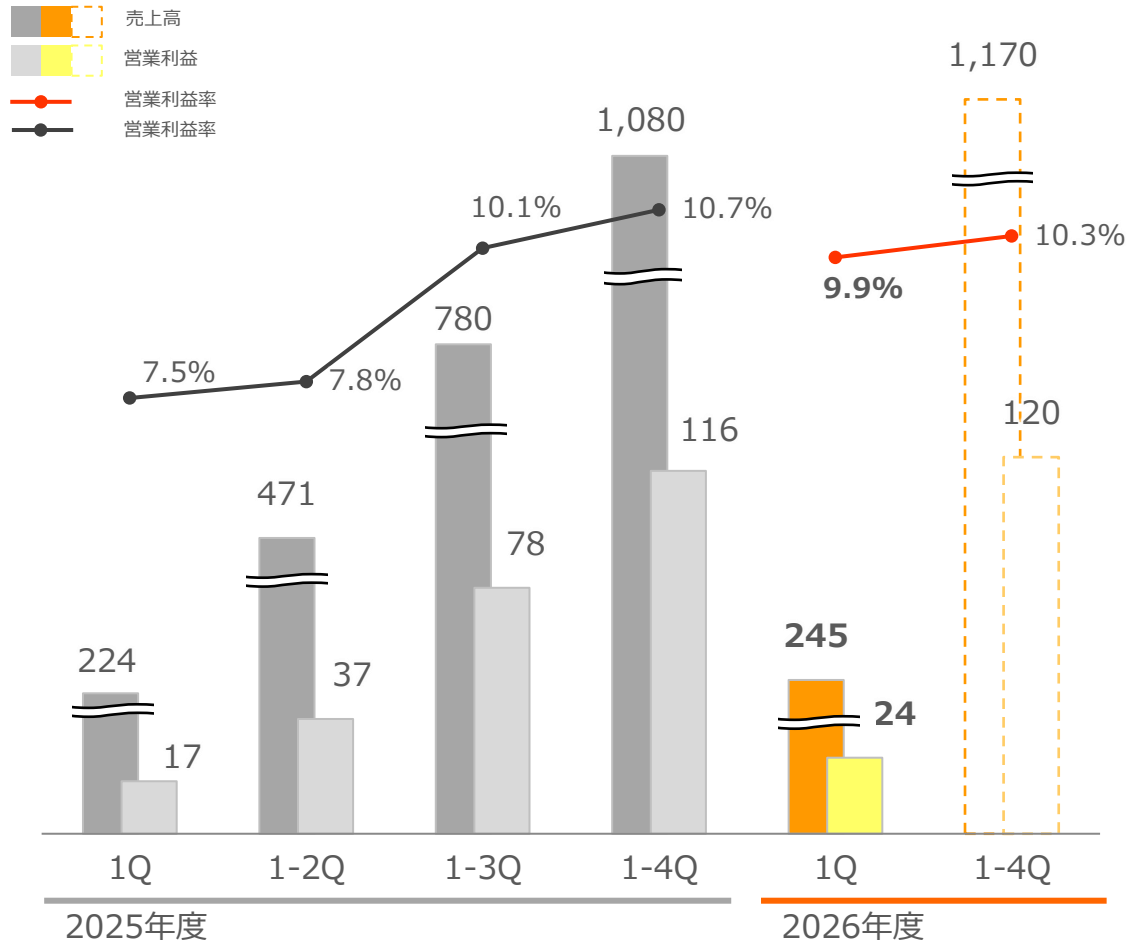
26年度 第1四半期（4-6月）市況

- > <鉛蓄電池（国内）>
 > <鉛蓄電池（海外）>
 > <リチウムイオン電池>
 > <産業電池電源>
 > <航空・宇宙・防衛>

新車の物量は前年対比若干の増加である一方で、補修向けの物量が大幅に増加したことで増収増益。
 欧州や東南アジアを中心に物量の大幅な増加や為替の影響で増収増益。
 中東情勢の影響による材料費高騰などの影響がある一方で、トヨタ向けなどで物量が増加したことで増収増益。
 常用分野や非常用海外は堅調に推移する一方で、非常用国内における昨年の大口案件の反動影響で減収減益。
 熱電池の需要拡大により増収の一方で、潜水艦LiBの契約単価変更により減益。

売上高・営業利益・利益率（累計）

（億円）



2026年度 第1四半期商況（前年比：4-6月）

増収増益

➤ [新車向け]

販売数量は若干の増加に加えて、鉛の価格スライドなどにより増加

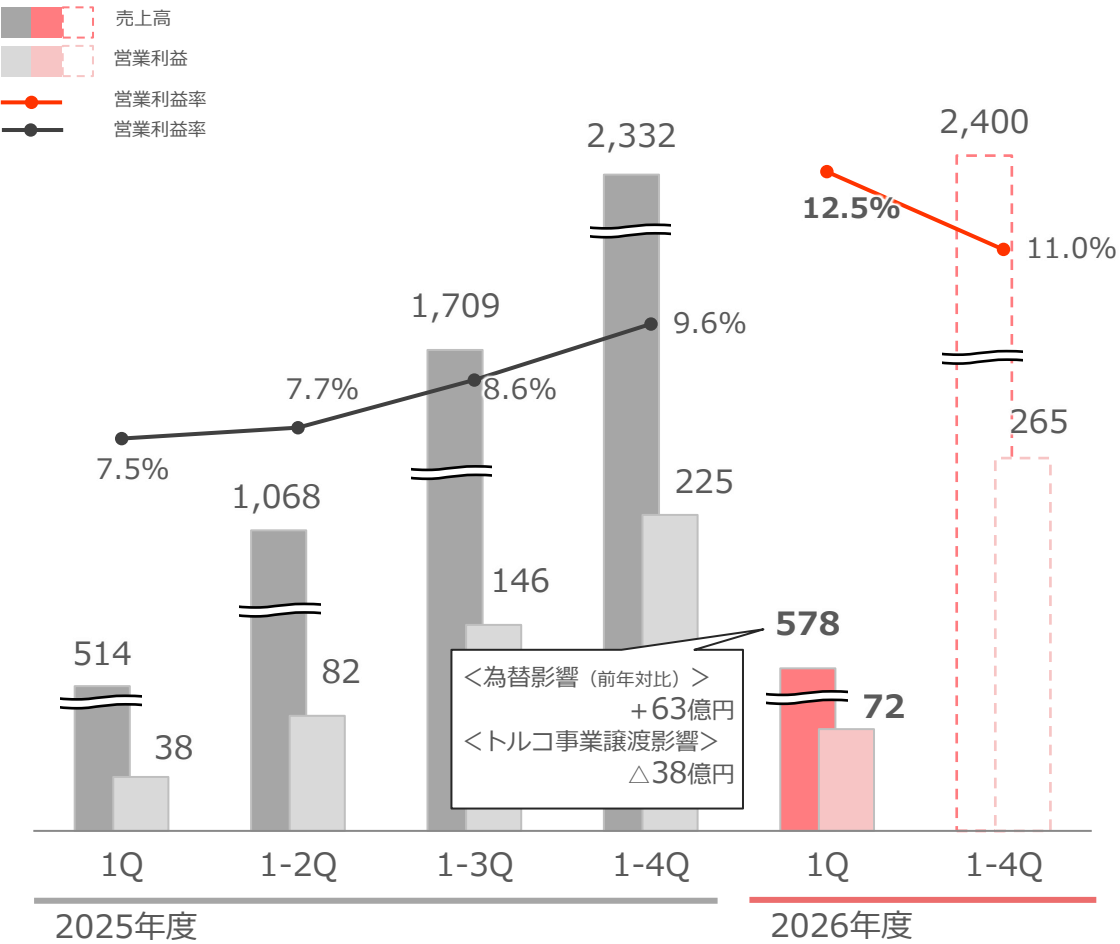
➤ [補修向け]

販売数量の増加に加えて、高付加価値製品の増加による製品ミックス良化により売上高は増加

増減益要因（前年比：4-6月）

数量・構成変化	+6	補修向け数量増加
売価	+12	売価見直しおよび鉛の価格スライドなどにより増加
原材料価格	△7	国内鉛など一部原材料の高騰影響
経費等	△4	

売上高・営業利益・利益率（累計）（億円）



2026年度 第1四半期商況（前年比：4-6月）

増収増益

- [東南アジア] ➡
タイ、ミャンマーおよびベトナムを中心として、補修市場における自動車用・二輪用の販売数量が堅調に推移
- [欧州] ➡
自動車用・二輪用ともに販売数量が増加
- [豪州] ➡
「Made in Australia」で販売数量は引き続き堅調に推移

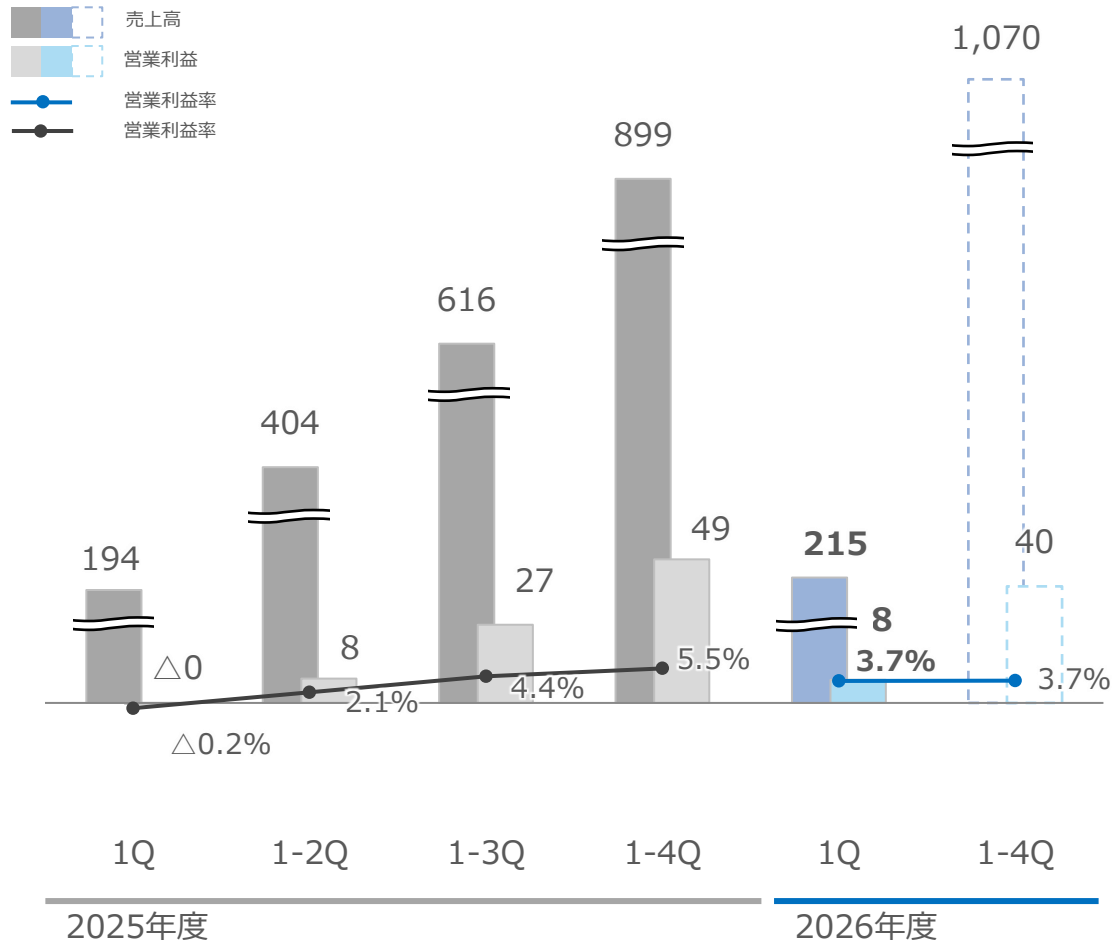
増減益要因（前年比：4-6月）

数量・構成変化	+15	東南アジア中心に販売物量増による影響
売価	+7	コスト上昇分の売価反映等により増加
原材料価格	△2	原材料価格の高騰
経費等	△3	インフレに伴う経費増加
為替	+8	
トルコ譲渡影響	+9	

（注）2026年度より鉛蓄電池（海外）に含まれる産業用海外事業を産業電池電源に変更しております。
2025年度の売上高および営業利益（利益率）は変更後の報告セグメントにより記載しています。
2025年度2Q,3Q,4Qは概算値で開示しております。

売上高・営業利益・利益率（累計）

（億円）



2026年度 第1四半期商況（前年比：4-6月）

増収増益

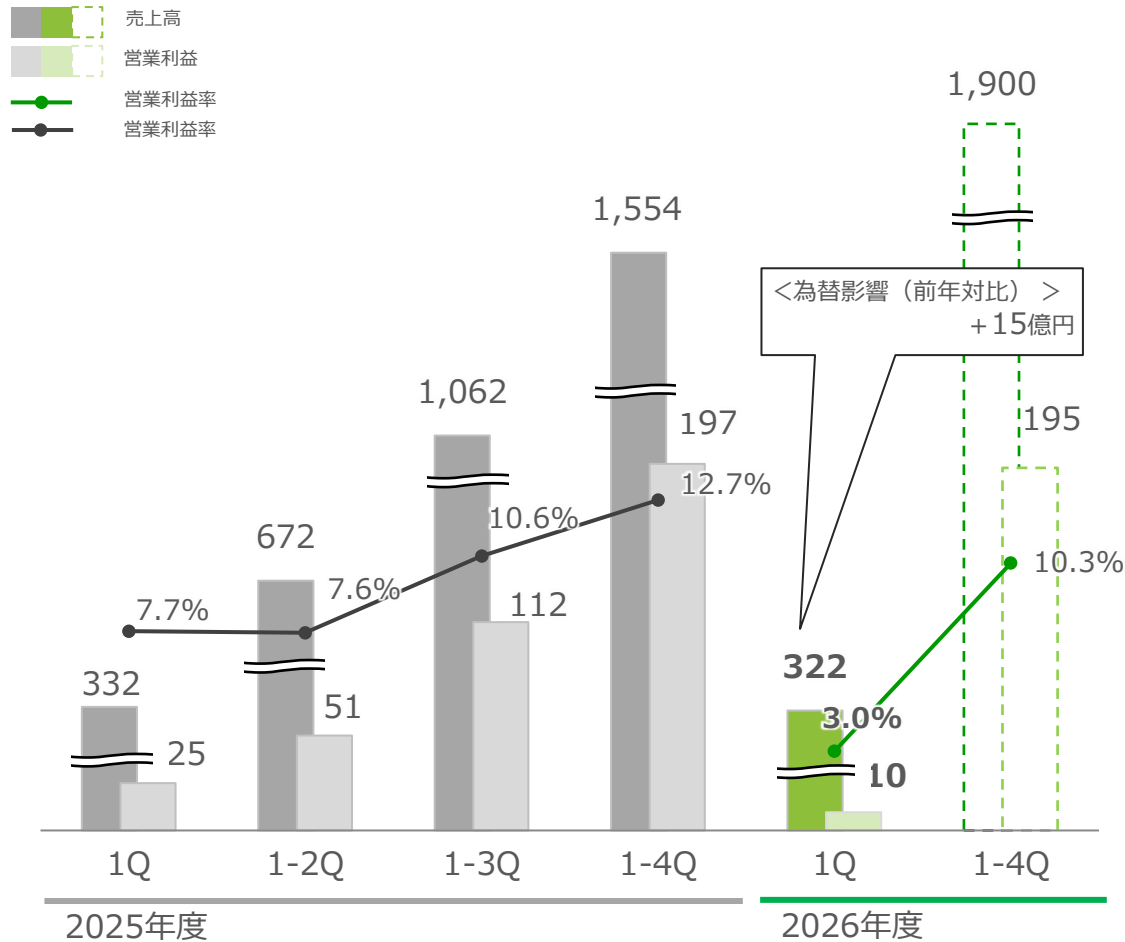
- [HEV] トヨタ向け販売数量が大きく拡大したことで売上高は増加
- [PHEV] 三菱自動車向けの販売数量の減少により売上高は減少
- [12V LiB] 販売数量の増加により売上高は増加

増減益要因（前年比：4-6月）

数量・構成変化	△3	HEVの機種構成変化により減少
売価	+28	前年度下期の売価見直しの影響等で増加
原材料価格	△6	一部部材の高騰により減少
経費等	△12	新ライン稼働により償却費増加

売上高・営業利益・利益率（累計）

（億円）



(注) 2026年度より鉛蓄電池（海外）に含まれる産業用海外事業を産業電池電源に変更しております。
2025年度の売上高および営業利益（利益率）は変更後の報告セグメントにより記載しています。
2025年度2Q,3Q,4Qは概算値で開示しております。

2026年度 第1四半期商況（前年比：4-6月）

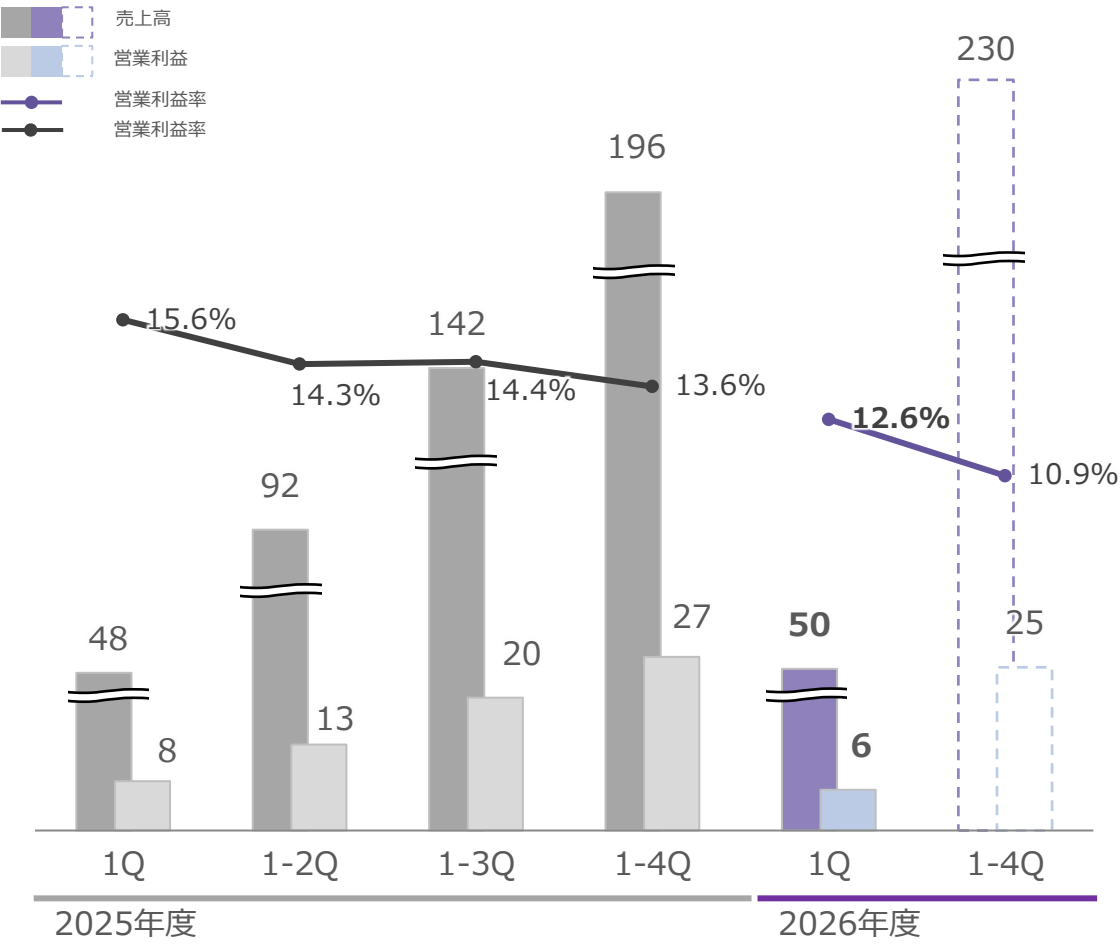
減収減益

- **[常用（国内）]** 案件の増加に加えて、前期からの期ズレ影響もあり売上高は増加
- **[非常用（国内）]** 原子力向けやデータセンター需要は引き続き堅調の一方で、昨年のコンビ二向けの大口案件の反動減の影響で売上高は減少
- **[非常用（海外）]** 北米向けAIデータセンターの新規案件により増加
- **[フォークリフト用（グローバル）]** 販売台数は減少も売価見直しにより売上高は横ばい

増減益要因（前年比：4-6月）

数量・構成変化	△6	非常用国内の昨年大口案件の反動減
売価	+5	昨年少利益率の大口案件
原材料価格	△2	国内鉛など一部原材料の高騰影響
経費等	△14	研究開発費や労務費等の増加
為替	+1	

売上高・営業利益・利益率（累計） (億円)

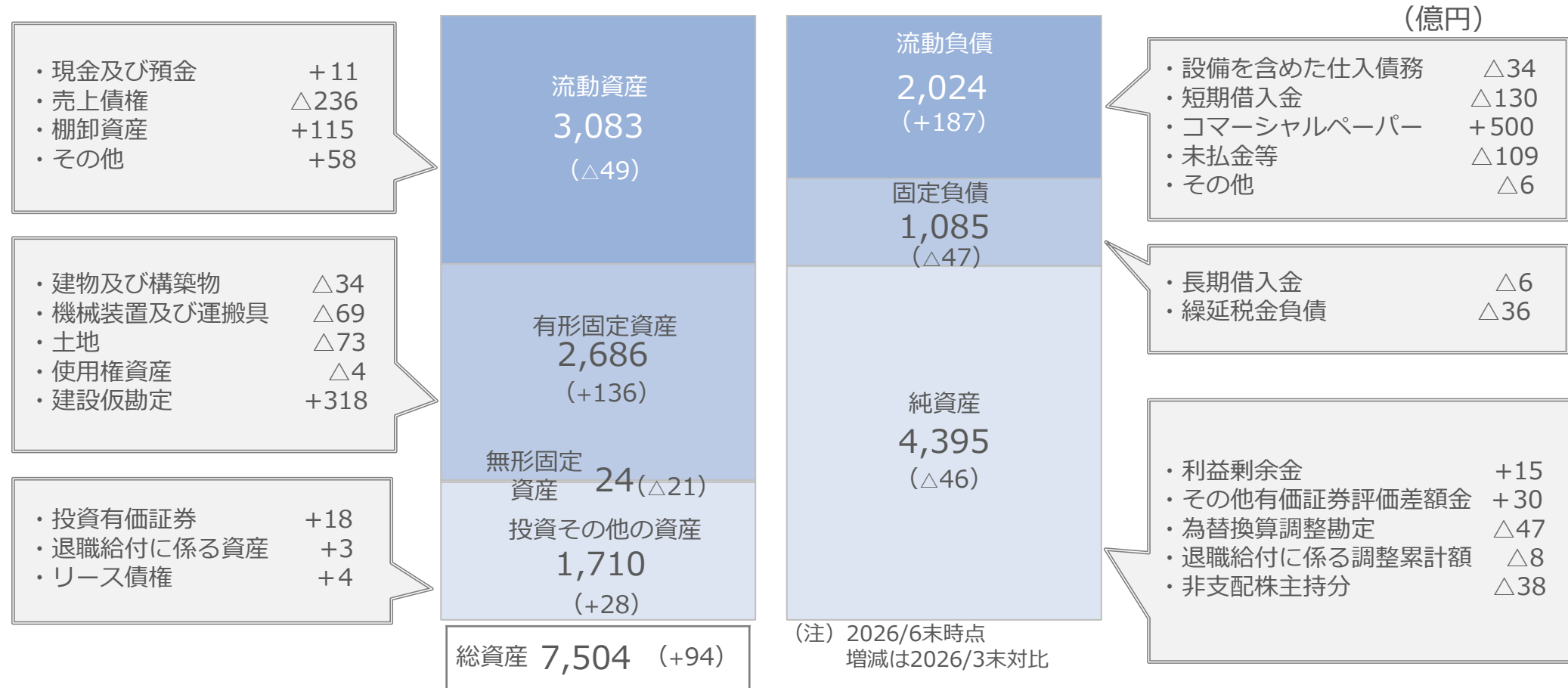


2026年度 第1四半期商況（前年比：4-6月）

増収減益

- [潜水艦用リチウムイオン電池] 売上高は減少
- [熱電池] 防衛向け需要増のため売上高増加
- [航空・宇宙用リチウムイオン電池] 新設・エアライン（補修）向けともに需要増のため売上高増加

増減益要因（前年比：4-6月）		
数量・構成変化	+2	熱電池の需要増
売価	△2	契約単価見直しにより減益
原材料価格	△1	
経費等	△1	



ポイント

- 債権回収の一方でESS向け投資や配当金支払いなどで現金及び預金は横ばい
- 主に産業電池電源やリチウムイオン電池で在庫が増加
- ESS向け投資により有形固定資産が増加

	2026/3末	2026/6末
自己資本比率	53.3%	52.5%
借入金総額	878億円	1,243億円

2027年3月期 業績予想

		2025 年度 実績		2026 年度 予想			増減 ((A)-(B))	(前期比)
(単位：億円)		1Q実績 (4-6月)	通期実績 (4-3月)	1Q実績 (4-6月)	当初予想 (4-3月) (B)	修正予想 (4-3月) (A)		
売上高		1,319	6,090	1,417	6,600	6,800	+200	(+11.7%)
営業利益 (利益率)		83 6.3%	602 9.9%	116 8.2%	600 9.1%	630 9.3%	+30 +0.2P	(+3.0%)
経常利益		85 6.4%	582 9.6%	121 8.5%	560 8.5%	610 9.0%	+50 +0.5P	(+3.0%)
親会社株主 当期純利益 (利益率)		65 5.0%	419 6.9%	76 5.3%	360 5.5%	395 5.8%	+35 +0.3P	(+7.3%)
EPS (1株当たり利益)		65.11 円	417.33 円	75.34 円	358.88 円	393.74 円	+34.86 円	
配当金 (円/株) (26年度は予定)		-	90 円 (通期)	-	98 円 (通期)	98 円 (通期)	-	
相場情報／前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	34.64 万円/t	36.01 万円/t	38.01 万円/t	38.0 万円/t	38.0 万円/t	- 万円/t	
	L M E (US\$/t)	1,947 US\$/t	1,953 US\$/t	1,955 US\$/t	2,100 US\$/t	2,000 US\$/t	△100 US\$/t	
	為替 (円/US\$)	143.75 円/US\$	151.09 円/US\$	160.72 円/US\$	150.00 円/US\$	160.00 円/US\$	+10.00 円/US\$	

業績の見直し

セグメントごとに事業環境は異なるものの、国内外の鉛蓄電池事業が想定以上に好調に推移していることを受け、売上高および各段階利益の業績予想を上方修正しました。

		2025 年度 実績		2026 年度 当初予想 (B)		2026 年度 修正予想 (A)		増減 ((A)-(B))	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
(単位: 億円)									
モビリティ	鉛蓄電池 (国内)	1,080	116 (10.7)	1,130	115 (10.2)	1,170	120 (10.3)	+40	+5 (+0.1)
	鉛蓄電池 (海外)	2,332	225 (9.6)	2,240	230 (10.3)	2,400	265 (11.0)	+160	+35 (+0.7)
	リチウムイオン電池	899	49 (5.5)	1,070	50 (4.7)	1,070	40 (3.7)	-	△10 (△1.0)
インフラ	産業電池電源	1,554	197 (12.7)	1,900	195 (10.3)	1,900	195 (10.3)	-	- (-)
	航空・宇宙・防衛	196	27 (13.6)	230	25 (10.9)	230	25 (10.9)	-	- (-)
	その他	29	△12	30	△15	30	△15	-	-
合計		6,090	602 (9.9)	6,600	600 (9.1)	6,800	630 (9.3)	+200	+30 (+0.2)

(注) 2026年度より鉛蓄電池 (海外) に含まれる産業用海外事業を産業電池電源に変更しております。
2025年度の売上高および営業利益 (利益率) は変更後の報告セグメントにより記載しています。
2025年度実績は概算値で開示しております。

セグメント別修正理由

- <鉛蓄電池 (国内)> 2Q以降に樹脂や錫等の原材料価格上昇の懸念があるが、補修向けの好調もあり売上高・営業利益を上方修正
- <鉛蓄電池 (海外)> 堅調な実需による1Q決算の好調に加え、為替やLME価格の見直しを反映し、売上高・営業利益を上方修正
- <リチウムイオン電池> 中東情勢の影響に伴う部材調達リスクによる生産調整を実施したことに加え、原材料価格上昇の影響を反映し営業利益を下方修正

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

コーポレート室（広報・IR） 柿島 辰年・青木 裕・田中 祥太・松沢 拓哉

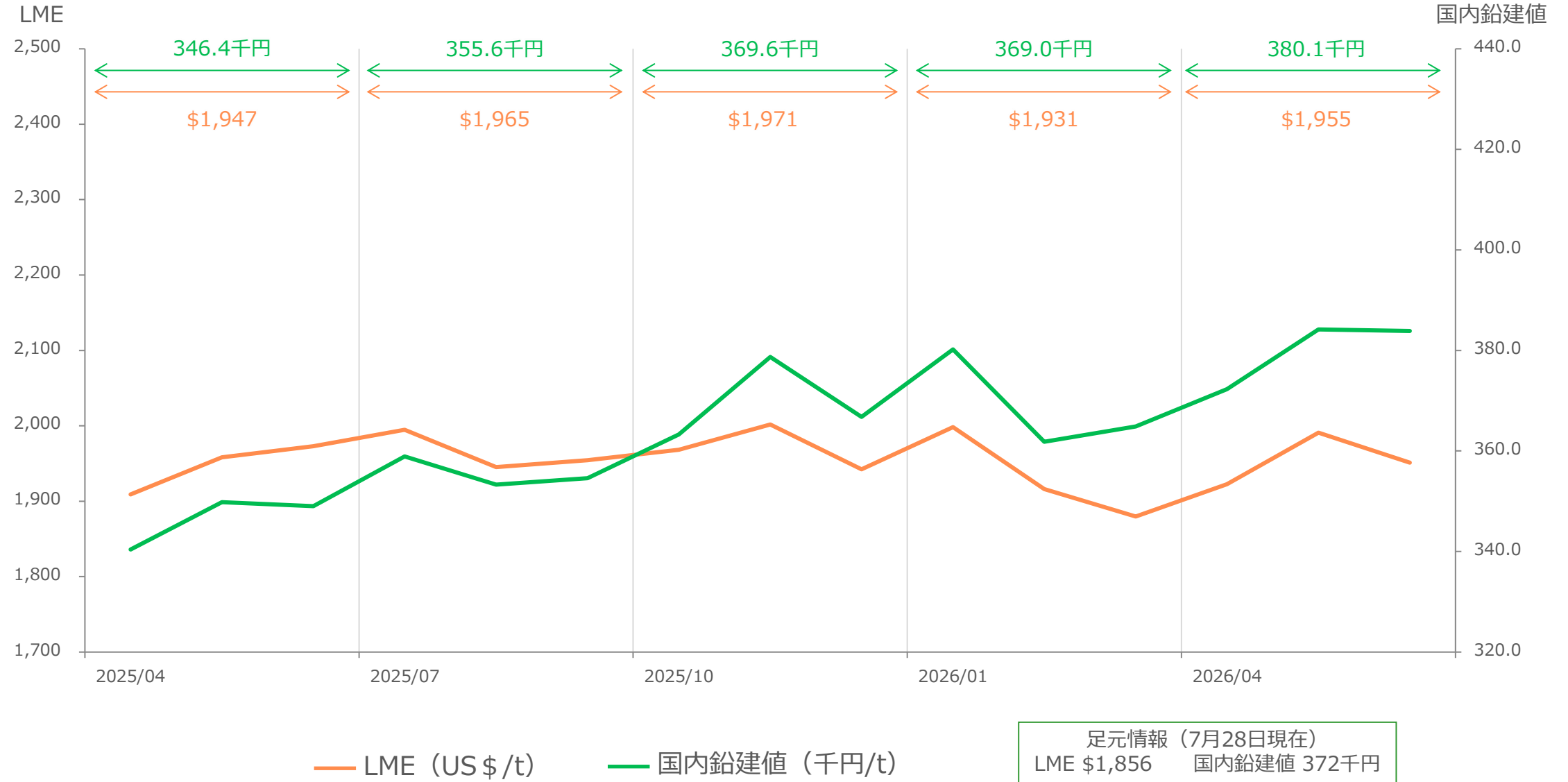
Tel : 075-316-3486

<https://www.gs-yuasa.com/jp>

参考資料



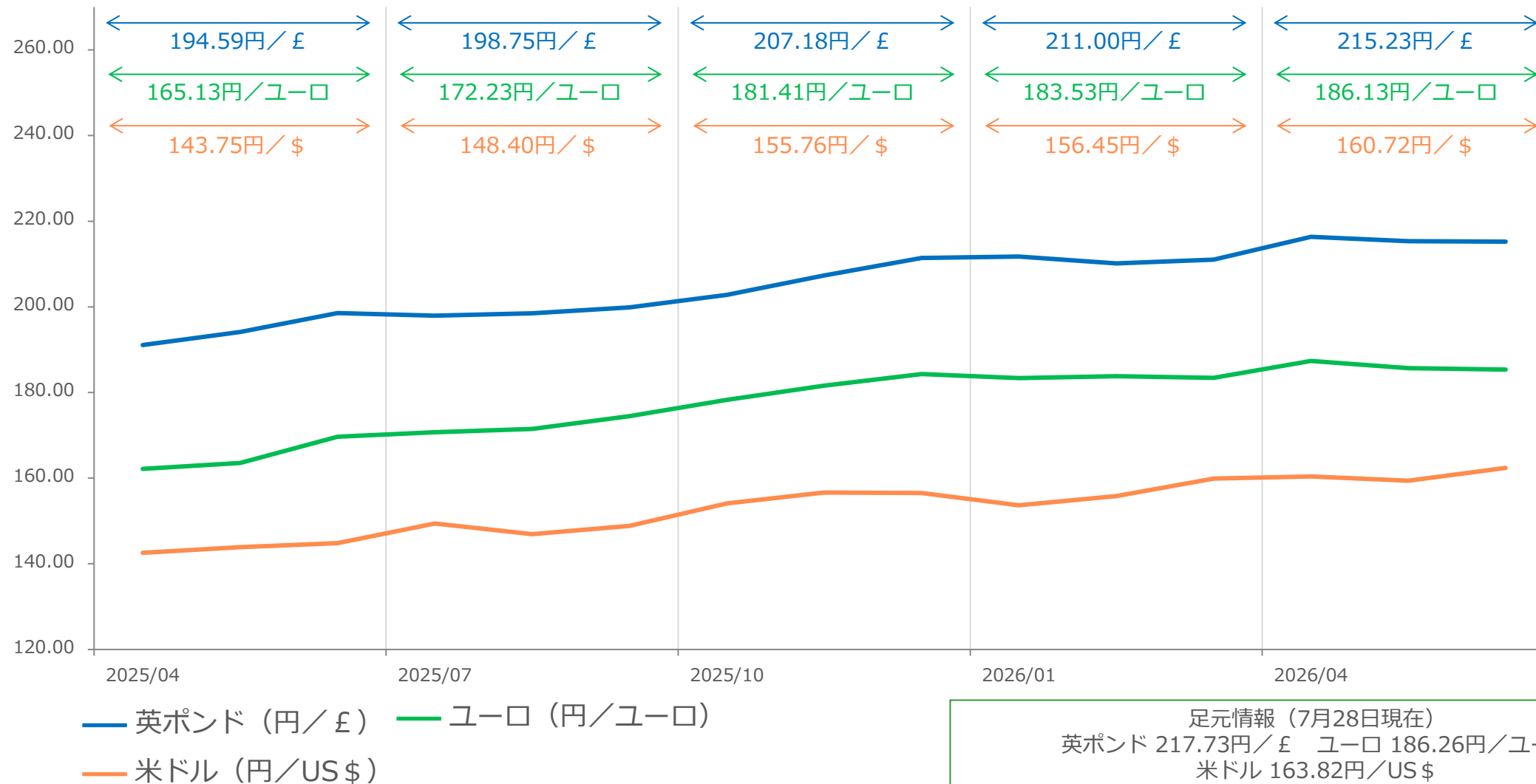
参考資料. 原材料価格の推移





参考資料. 為替の推移

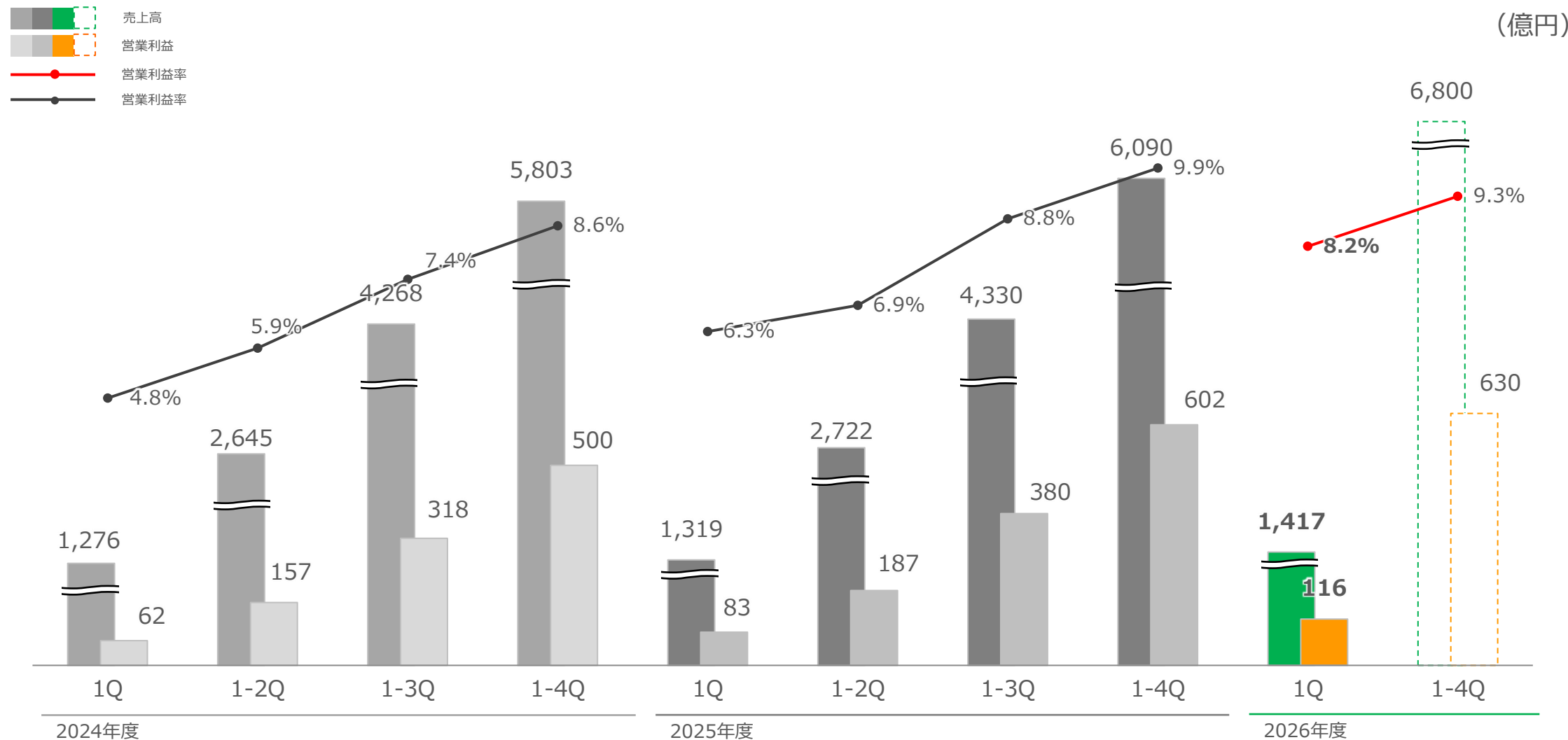
英ポンド・ユーロ・米ドル



(注) 2026年度より鉛蓄電池（海外）に含まれる産業用海外事業を産業電池電源に変更しております。
2025年度の売上高および営業利益（利益率）は変更後の報告セグメントにより記載しています。
2025年度20、30、40および通期は概算値で開示しております。

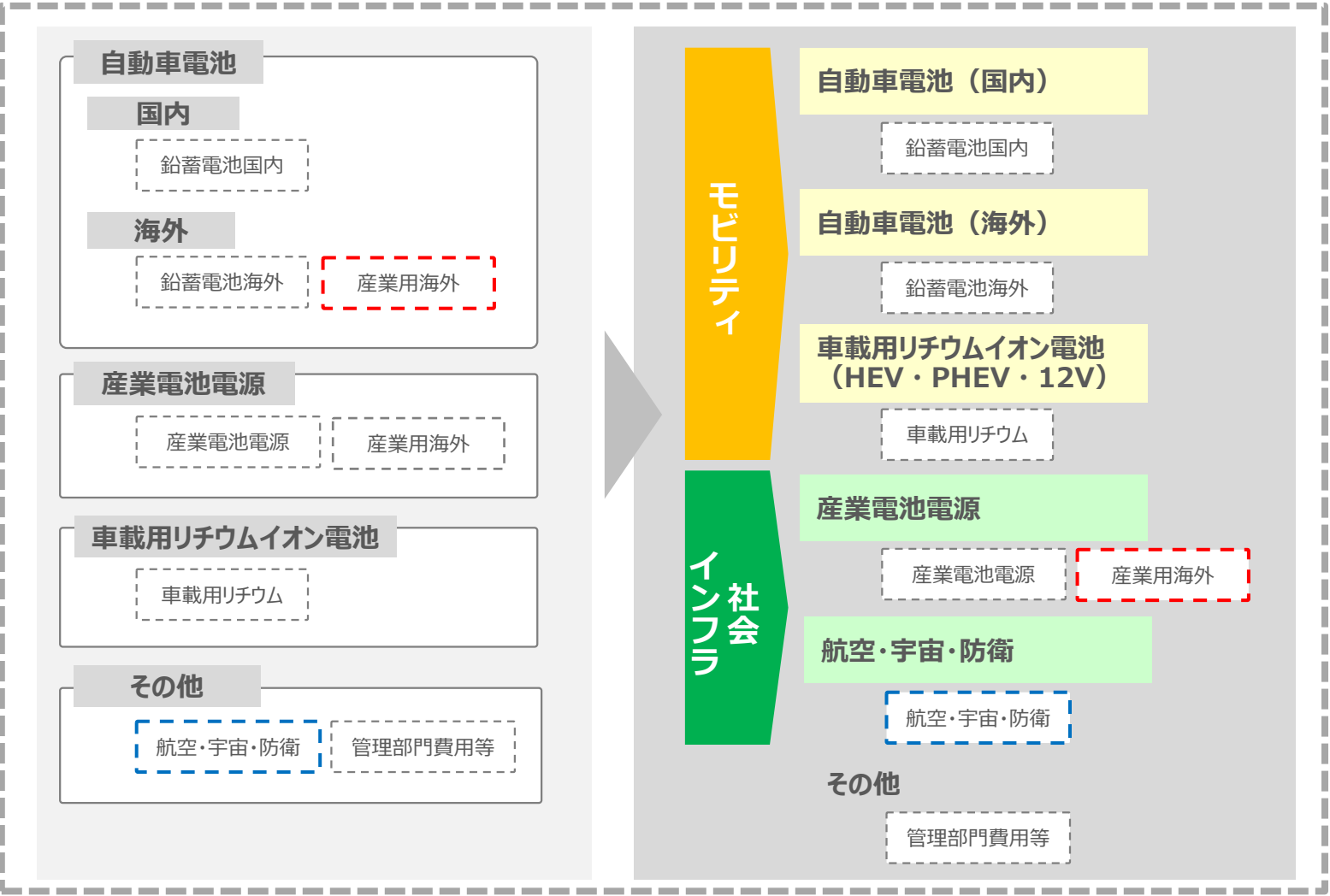


参考資料. 売上高・営業利益・利益率推移

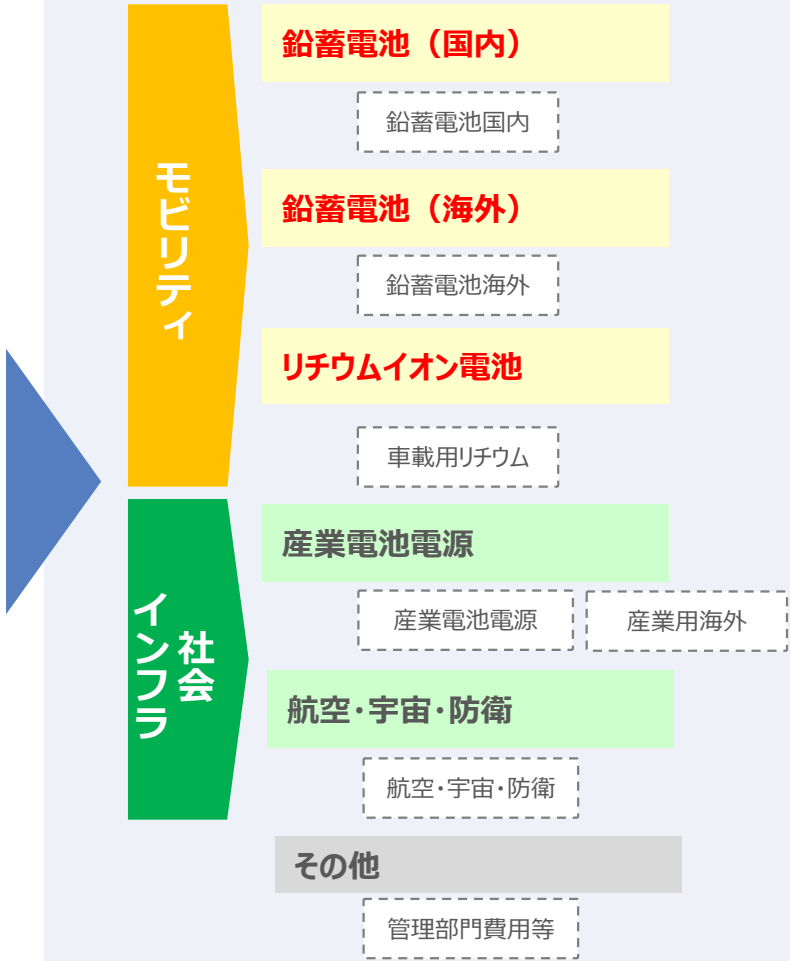


参考資料. セグメント名称変更について

2026年5月13日 決算説明会時のセグメント変更内容



2026年度1Q決算以降の名称



※名称変更のみで、業績への影響はありません。



日時	イベント	登壇者
11月6日（金） 15:00予定	2027年3月期 第2四半期決算発表 （報道機関向け）	代表取締役社長 阿部 貴志 取締役CFO 松島 弘明
同日 16:00～17:00予定	2027年3月期 第2四半期決算説明会 （機関投資家・アナリスト向け）	同上